

II 開催挨拶

広島大学 アクセシビリティセンター

教授 佐野 眞理子

皆様、本日は、平成 21 年度 広島大学 アクセシビリティ・セミナー「障害のある中高生のための大学進学セミナー」お越し頂き、ありがとうございます。

私は、本学のアクセシビリティセンター長をしております、佐野と申します。よろしくお願いたします。

本日のセミナーの趣旨をご説明します。

近年、障害のある生徒さん達の大学進学の機運が高まっています。大学のホームページや受験雑誌などで、カリキュラムなどの教育内容に関する情報は比較的容易に得ることができるでしょう。しかし、大学での生活全般・学習について、どのような支援を行っているのか、多様な障害についてどのようなサポートがあるのかといった情報を得るのは、なかなか大変です。

大学における障害のある学生に対するサポートはここ数年の間に、以前に比べると格段に進歩してきました。たとえば、広島大学では、全ての学生に質の高い同一の教育を保障し、誰もが学びやすい修学環境整備「高等教育のユニバーサルデザイン化」に全学で取り組んでいます。他の大学でも、さまざまな取り組みをされています。

しかし、このことは意外と知られていません。大学の側としては、中学校や高校の生徒さん、先生方、保護者の皆さんにもっともっと知ってほしいと思います。同時に、中学校や高校で行われている支援について、大学の側はよく知りません。中等教育と高等教育の間のコミュニケーションがもっと活発になり、相互の理解が進み、滑らかにつながる事が大切だと思います。

本学では、文部科学省・独立行政法人 日本学生支援機構から「平成 21 年度 障害学生受入促進研究委託事業」を受けたのを機に、広島県内の中学校・高等学校と本学とで、支援に携わる教職員の人材交流・情報交換を行っています。今日のセミナーもその一環です。

そこで、本学の取組を含め他大学の取組、支援体制などの現状と課題について話題提供、情報提供の場として「障害のある中高生のための大学進学セミナー」を開催いたします。

今日のセミナーは二部に分かれています。

まず、第一部では、最初に、日本学生支援機構学生生活部特別支援課の小越様から、障害学生支援について、全国規模の状況についてお話をいただきます。次に山口大学大学教育センターの小川先生に、山口大学の取組をご紹介します。次に、広島大学アクセシビリティセンターの山本先生から、大学に修学支援の方法、広島大学の取組についてご紹介します。

第二部では、会場のセッティングを変えて、情報交換会を開催します。参加していただく大学は、広島国際大学、県立広島大学、広島文化学園大学です。また、アクセシビリティセンターで、学生スタッフによる「支援技術体験会」を行います。大学生活の様子なども、彼らにお尋ねください。

本日のパソコン要約筆記を担当していただくのは、東広島市の要約筆記団体「花たば」の皆さんです。よろしくお願いいたします。その他、拡大コピー資料、点訳資料を用意していますので、必要な方は、お申し出ください。

それでは、本日のセミナーが皆さんにとって、話題提供、情報交換・交流の場になることを願っております。どうぞ最後まで、ご参加いただけますようお願いいたします。